

このスマート水素ステーションは、Honda独自の、コンプレッサーが不要な高圧水電解システムを採用し、高圧水素タンクから充填ノズルまでの主要構成部位を世界で初めてパッケージ型に収納しました。



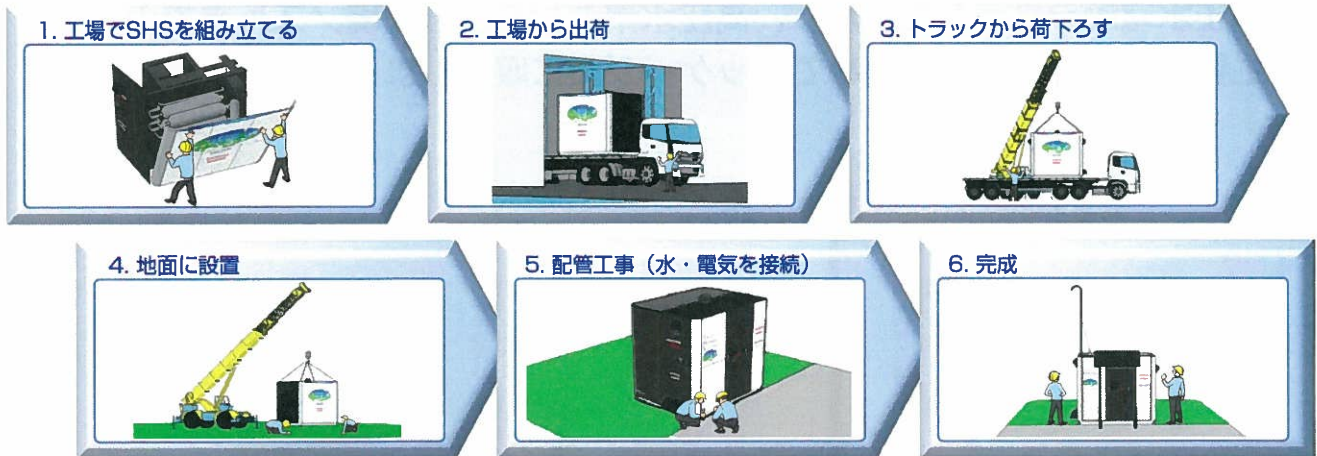
< 主要諸元 >

水素製造	製造水素量	1.5 kg/日 (0.7Nm <sup>3</sup> /h)
	常用圧力	35 MPa
	貯蔵量	約18 kg @15°C (92Lx8本)
	水素純度	>99.99%
構成要素	システムサイズ	W3200 X D2438 X H2438 (mm) 設置面積 約7.8 m <sup>2</sup>
	電解ユニット	差圧式高圧水電解システム
	充填方式	急速充填 (3バンク・カスケード方式)
	ユーティリティ	200VAC / 水道水

～ 簡便で (Simple)、小さな (Small)、持続可能 (Sustainable) な水素ステーション ～

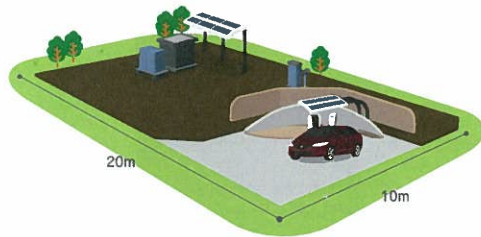
## <簡便 : Simple>

パッケージ化によって、工場出荷後の設置工事期間が大幅に短縮できます。

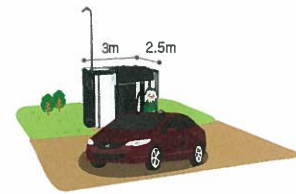


## <小さい : Small>

パッケージ化によって、設備の設置面積を大幅に削減できます。



従来の分散配置型水素ステーション



パッケージ型スマート水素ステーション

## <持続可能 : Sustainable>

北九州市エコタウンセンターではセンター内に設置してある太陽光パネルによる電力の供給を受け、水素を製造しています。今後さらに地域の特性を活かした様々なエネルギーの地産地消を実現する水素ステーションとして、利用の拡大が期待されます。

